

魁のまち推進室

まちづくり委員会 事業計画

まちづくり委員会 委員長 深作 陽右

水戸のまちは日本遺産に登録された弘道館を含む歴史ある189の指定文化財をもつ地方都市であり、本年は明治維新から150年を迎え歴史において重要な役割を果たした水戸の先人たちの足跡や精神を学ぶ絶好の機会が訪れています。歴史や伝統文化を継承して繋いでいく重要性を自覚した水戸市民が、地域に対する深い関心を持ち、郷土愛が育まれた市民一人ひとりが水戸の魅力と可能性に溢れる住みよい未来を創造する必要があります。

まずは、世界に対して水戸のまちな魅力ある情報や個性を発信するために、偕楽園公園を活用した再訪率の高まる事業を構築し、市民と共に都市公園として世界第二位の広さを誇る偕楽園公園の価値を波及することで、県内に留まらず日本、世界から多くの観光客が訪れやすい環境を整えます。そして、水戸のまちが歴史観で満ちた、より活気のあるまちとなるために、私たちが行ってきた伝統工芸を活かしたまちづくり事業を様々な視点から検証し、その経験や考えを活かし行政や関係団体と連携して街中に和装の市民が溢れる事業を開催することで、郷土愛と歴史意識の向上した市民にムーブメントを起こします。また、我々の運動の発信力を最大限に引き出すために、事業で関係した人々に活動の理解を得てから収集した情報を用いた会員拡大をすることで、共にまちづくりを行う多くの同志を迎え入れます。さらに、多くの新たな気づきとLOMの垣根を越えた様々な人々との交流の機会を得るために、メンバーが積極的に諸大会や各種事業へと参画し、想いを寄せることで、水戸青年会議所の看板を背負い出向するメンバーを顔の見える位置から支援します。

大きな刺激を受けた水戸のまちは、歴史や伝統を継承した青年会議所メンバーや市民が、未来を見据えて互いに意見や発想を活発に主張できると共に、地域資源を活かした水戸の将来性を市民一人ひとりが感じることで、未来へ夢を与えるまちへと成長します。

<事業計画>

1. 偕楽園公園を利用した再訪率の高まる事業の構築
2. 伝統工芸を活かした街中を和装の市民が溢れる事業の開催
3. まちづくりの同志を迎える会員拡大
4. 顔の見える積極的な出向者支援